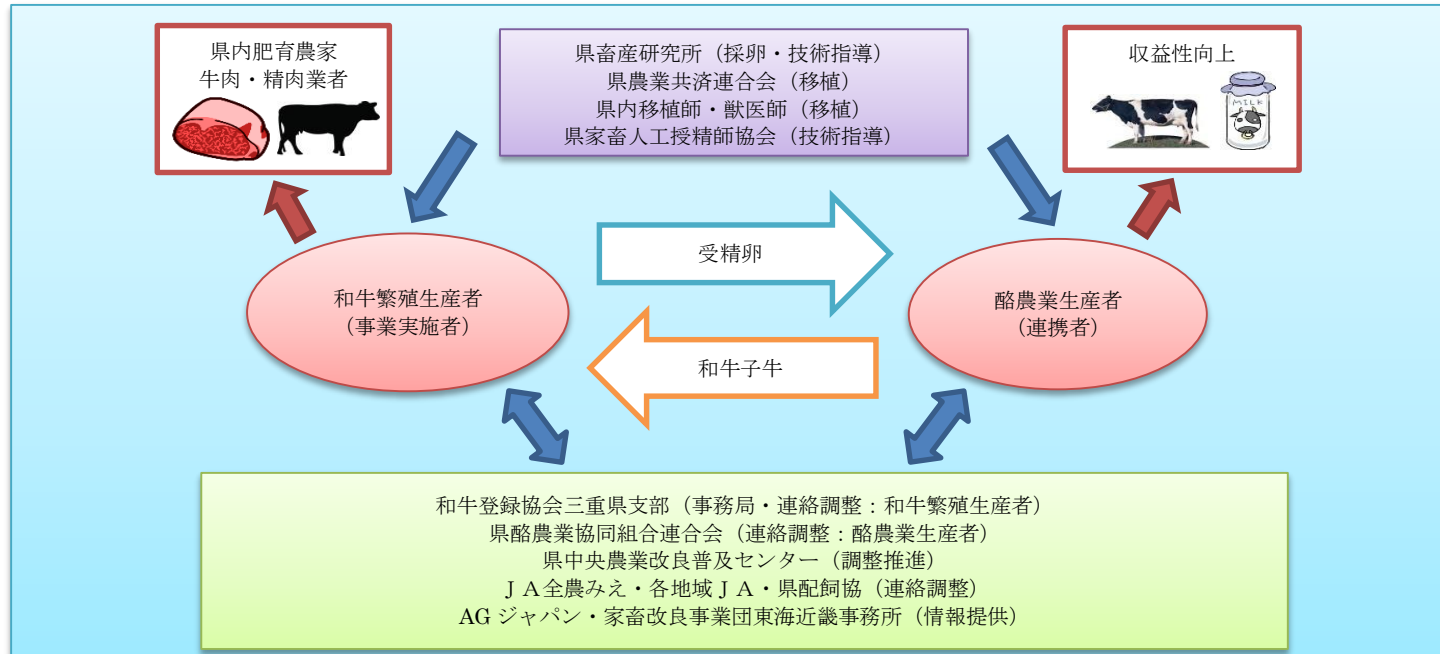


# 三重県和牛繁殖協議会

課題：三重県の肉牛生産は肥育が主体の県であり、素牛導入は県外に依存している。全国的に子牛の生産頭数が減少していることから、素牛導入が難しくなっており、子牛生産基盤の確保が喫緊であるが、県内の繁殖農家が少ないことから進展しない状況である。

## E T技術の活用による三重県内の和牛繁殖生産者と酪農生産者が連携した和牛子牛増産に向けた取組み



### 実証内容

●和牛繁殖生産者からの受精卵（優良メス牛）を用いて酪農生産者に移植を行い、ヌレ子（1週間～数ヶ月）を和牛繁殖生産者が引取り育成・管理する流れを実証し、稼働しているキャトルセンターへの現地視察研修を行う。

生産子牛の育成・発育等の飼養管理のマニュアル化による普及促進を目指し、将来的には県内和牛子牛育成拠点となるキャトルセンターの構築を目指す。

### 効果

#### 【E T産子数の増加】

730頭（平成27年） ⇒ 800頭

#### 【キャトルセンターの構築】

酪農生産者の飼養管理労力の低減

#### 【県内産子牛の県内流通】

生産された子牛を県内和牛繁殖生産者で引取ることにより県内流通が確立

#### 【県内の和牛改良】

優良繁殖用メス牛の受精卵を利用することで、繁殖メス牛の改良促進